

あぶた福祉会

第87回

清水友愛の里 野外焼肉

6月20日、清水友愛の里の敷地内で野外焼肉行事を開催しました。当日は天候にも恵まれ、利用者の皆さん、ご家族、職員が一緒になって、笑顔あふれるひとときを過ごすことができました。

会場には炭火の香ばしい香りが広がり、牛肉や焼き鳥、ウインナー、新鮮な野菜などが次々と焼き上がります。「いい匂いがするね」「早く食べたいな」と、焼き上がる様子を楽しみに待つ利用者の皆さんの表情はとても生き生きとしていました。職員が一人ひとりの食事形態や体調に配慮しながら提供し、それぞれが安心して食事を楽しめるよう心掛けました。

焼きたてのお肉を頬張ると「おいしい」と笑顔があふれ、普段は少食な人がおかわりを



する場面も見られました。野菜やウインナー、ペッパーランチ、ミニ冷やし中華、レークヒルファームのアイスクリームなどを用意し、皆さん思い思いに好きなものを味わいながら、会話も自然と弾みました。普段とは違う開放的な屋外での食事は、季節を感じながら過ごせる特別な時間となりました。

食後のレクリエーションでは、両面テープのついた傘にボールを投げ、何個付いたか

を競うゲームを行い、利用者と士で応援し合う姿や、職員と一緒に笑い合う様子があちらこちらで見られ、会場全体が温かな雰囲気包まれました。普段はあまり話す機会の少ない利用者同士が会話を楽しむ姿もあり、行事ならではの新たな交流が生まれたことを嬉しく感じました。

また、準備では保護者の皆さんにご協力をいただき、焼き鳥やウインナー、焼肉を焼いていたいただきました。片付けでは、多くの職員が協力し合い、安全面に配慮しながら無事に終えることができました。暑さ対策として、こまめな水分補給や休憩を取り入れ、体調確認を行いながら進めたことで、大きな事故やけがもなく無事に終えることができました。

利用者の皆さんの笑顔や「おいしかった。また来年もやりたいね」という声が、職

員にとって何よりの励みとなりました。

このような季節行事は、日常生活に楽しみや変化をもたらすだけでなく、人とのつながりを深め、心身のリフレッシュにもつながる大切な機会です。屋外で自然を感じながら食事を囲むことで、普段とは異なる表情や新たな一面が見られることも多く、利用者一人ひとりの豊かな生活につながっていると感じます。

今後も利用者の皆さんの思いや希望を大切にしながら、安全で安心して参加できる行事を企画していきます。季節を感じられる活動や地域との



交流を取り入れ、一人ひとりが楽しみを持ちながら充実した毎日を過ごせるよう、職員一同取り組んでいきます。今回の野外焼肉行事では、多くの笑顔と「おいしい」「楽しかった」という声に包まれ、思い出に残る一日となりました。

これからも利用者の皆さんが安心して過ごせる環境づくりを大切にしながら、心豊かな時間を積み重ねていきたいと思えます。ご協力いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

